

第24回「人事院における政策評価に関する懇談会」

[議事要旨]

- 1 日 時 平成25年2月28日（木）13：30～15：30
- 2 場 所 人事院第一特別会議室
- 3 出席者 小幡純子座長、縣公一郎、田邊國昭、宮智泉の各委員
（座長以外は五十音順）
- 4 議 題 (1) 平成24年度人事院政策評価結果（案）について
(2) 平成24年度国家公務員倫理審査会政策評価結果（案）について

5 委員からの意見

(1) 平成24年度人事院政策評価結果（案）について

① 新たな採用試験の実施

- 採用試験制度を改正したことでより多様で有為の人材を採用することができたかどうか、新たな採用試験についての究極的な評価の基準となるが、導入初年度にその観点からの評価を行うことは困難であるため、数年後に改めて評価を行う必要がある。
- 総合職試験（大卒程度試験）の得点処理段階におけるミスについては、追加合格者への対応を行うだけでなく、再発防止策を講ずることが重要である。

② 国際化に対応し得る行政官の育成

- 国際会議の場では、博士号を取得している者とそうでない者では発言の影響力に差がある。国際関係の業務に従事する職員を中心に、博士課程への派遣をより一層促進していただきたい。
- 組織部内での養成には時間を要することから、博士号取得者を直接採用する方策を検討してはどうか。
- 職員への周知に当たっては、在外研究員として派遣された経験をどのように業務に活かしているか事例を紹介することで、より多くの職員から応募がなされるようになるのではないかと。

③ 幹部公務員に対する研修の充実

- 可能であれば、課長級職員のうちどれだけの割合の者が研修に参加したかについても評価書に記載する必要がある。

④ 心の健康づくりの推進

- メンタル疾患の要因としては長時間の超過勤務も挙げられることから、勤務時間制度に関する政策の中で超過勤務についての対策により一層取り組んでいただきたい。

⑤ 公平審査の適正かつ円滑な実施

- 判定発出までの期間を短縮し、係属件数を減らすためにも、近年増加している精神疾患に係る災害補償の事案や給与決定の事案について、効率的に処理できるよう改善を図ることが重要である。

⑥ 人事・給与関係業務情報システムの整備、円滑な導入

- 「人事・給与等業務・システム最適化計画」においては、システムの導入による経費削減及び業務処理時間の短縮の見込みについて具体的な数値が掲げられている。現時点でそれらの実態を測定することは困難であろうが、安定的なシステム稼働になった段階で事後的な検証を行う必要がある。

(2) 平成24年度国家公務員倫理審査会政策評価結果（案）について

○ 公務員倫理に関する研修・啓発活動の充実

- 違反の予防という観点をより一層重視して取組を進めるべきではないか。

以 上